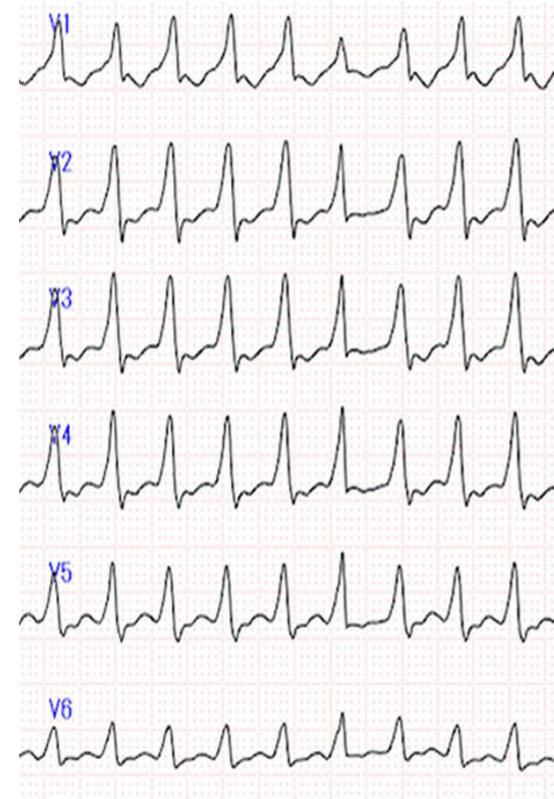


コロナ後遺症の精査から診断された特発性心室頻拍の1例

- ✓ 若年女性が、**コロナ後遺症によるブレインフォグ症状**のため、当科コロナ・アフターケア外来を受診した。身体所見や通常的心電図で異常は認めなかったが、血液検査で血中BNP値の軽度上昇が認められた。
- ✓ **運動負荷によって、動悸と不整脈**（右図：持続性単形性心室頻拍）が誘発された。超音波・MRI・心筋の病理検査でも異常を認めず、**特発性心室頻拍（VT）**と診断され、カテーテルアブレーション治療により、症状は改善した。



COVID-19と心室頻拍の関連は不明であるが、コロナ罹患後のさまざまな症状の精査において、不整脈の存在も考慮する必要があると考えられた。